



日本鋳物中子工業会  
会長 鈴木 泰博

### ごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。令和6年よき新春を迎えられたことと謹んでお喜び申し上げます。また、日頃は当協会の活動にご理解とご協力を頂いておりますことに感謝申し上げます。

昨年はコロナの対応が2類から5類に変更され、群馬県高崎市で面直による総会を開催し、株式会社東京鋳造所の工場見学も実施でき、直接会員皆様と交流できたことを大変うれしく思っています。今後も多くの会員の皆様と情報交換や親睦を深めて行きたいと考えています。

昨年の日本経済の状況ですが、コロナが落ち着き活気ある日常が戻ると考えていましたが、ロシアのウクライナ侵略が継続され、イスラエルとハマスの戦いなど多くの人々が犠牲になり世界の秩序が崩壊した状態で、エネルギー不足、為替変動などによる物価の高騰など大変厳しい状況が続いています。また私たち中小企業を取り巻く環境は、度重なる原材料の値上げ、エネルギー価格の高騰、受注量の減少、実習生などの労働力不足、カーボンニュートラル達成に向けてのエネルギー問題など多くの課題を抱えています。いろいろな課題に対してタイムリーな情報発信をし、会員皆様に少しでもお役に立てるよう活動を進めて行きたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いたします。

最後になりましたが、会員皆様方の益々のご繁栄とご健勝を祈念致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。

日本鋳物中子工業会 会長 鈴木泰博

### 化学物質管理者の選任の義務化について

#### <法改正について>

労働安全衛生法の関係政省令が改正されました。2022年5月31日(施工済)規制の変更が2段階に分けて実施されます。2024年4月1日よりリスクアセスメント対象物を製造、取扱い、または譲渡提供をする事業場ごとに「化学物質管理者」を選任し、当該事業場における化学物質の管理や教育の管理に係る技術的事項を管理させなければならないことが定められました。

#### <セミナー情報>

化学物質管理講座を開催いたします。2024年2月22日(木曜)15時から17時にオンラインにて行います。講師は旭有機材(株)の樹脂事業部CS品質部グループ長、井上隆規氏です。

講座内容は、化学物質管理の説明、SDSの見方、リスクアセスメントについて、NITEの使用方を学べます。講座は事前に準備が必要なため、開催1週間前までにお申し込みください(右記QRからお申し込みください)。



### カーボンニュートラル

昨年11月に榊原工業(株)主催の第1回SBT交流会が開催されました。

SBTとはScienced Based Targetの略で日本語訳では目標を指します。

地球温暖化を止めるために2050年までの二酸化炭素排出量削減の一環として今後注目されるカーボンニュートラル(CN)ですが、SBTとはその削減目標を設定して取り組む活動です。発表会を榊原工業主催で行われました。取組事例発表では、加工メーカー(株)カナックによる排出削減事例などが紹介されました。

また、荒川工業(株)からは全員参加のCNという事で、昨年CNキックオフされてからの活動報告がありました。企業の大小関係なく、今後はCN活動を推進されている企業が注目を浴びお客様のご要望にお応えできる時代が既に来ているのかもしれない。

こういった活動が会員企業様で行われており、今後弊会でも会員の方へCNのオンラインセミナーなどを行っていければと思っています。色々な環境変化に伴い、CNについての見識も更に深めることの重要性を感じました。

### 第30回 定時総会 群馬県高崎市 グランビュー高崎にて開催！！

2023年10月27日(金曜)群馬県にて定時総会が開催されました。コロナ明け初となる開催となりました。現在の正会員総数74社、賛助会員総数16社、総会にご出席された企業様は正会員数19社27名、出席賛助会員数7社、12名でした。また、同時にオンラインにてご出席された正会員数3社3名でした。多くの方にご参加いただきありがとうございます。決算報告、来期計画、役員改訂などの議案は無事承認されました。

総会前に行われた、見学会は高崎市内の(株)東京鋳造所様へお伺いさせていただきました。アルミグラビティ鋳造工場とダクタイル鋳鉄Hプロセス工場の見学を行いました。人協働ロボットを活用した検査や加工ライン、産業用ロボットを使用した加工ラインを拝見させていただきました。

日本鋳造協会よりお越し頂いた鈴木晴光専務理事よりのご挨拶をご紹介します。

日ごろ鋳造協会の活動に理解頂いておりありがとうございます。今後も連携をして課題を解決していきたいと思っております。お客様の業界、自動車や産業機械など受注がダウンしています。工業会の皆さんも受注が減っていると思われませんが、景気が良くない状態が世界的になっている、特にウクライナなども収束しないような中です。



原材料やエネルギーの高騰も課題にあり、解決するには政府や自民党の鋳物議連などに支援を要請しております。価格転嫁につきましては、適正に進みつつある状況であります。人材不足も同様に高校、大学に対してアピールをしております。鋳造とはお仕事として面白いとアピールをしています。外国人材の件につきましても、技能実習制度の見直しが行われている所です。非常に難しい制度になりそうという事ですが、受け入れやすい制度にして欲しいと要請をしております。鋳物屋さんがお客様から価格転嫁を認めてもらい、中子屋さんにも恩恵が出るように口酸っぱく言っているところであります。鋳造協会と中子工業会は運命共同体と思っております。引き続き、二人三脚で協力していきたいと思っております。

### 能登半島地震について

経済産業省(素形材室産業室)より震災後に弊社へ被害情報の共有依頼を受けまして、会員各位へ被害状況アンケートを行いました。ご協力頂きありがとうございました。下記、アンケート結果となっております。

#### ◆被害状況◆※復旧見込み

- ・富山県企業：床面隆起、段差によりリーチフォーク通行不可、仕掛品破損、金型転倒※1/9より通常稼働
- ・石川県企業：保管品、在庫品の落下のみ※1/5既に通常稼働

今後も災害時における際の連絡等ご協力をお願い致します。

また、その他お問合せ等ございましたら、下記メールアドレスまでご連絡ください。

メールアドレス：info@nakago.org

#### ◆お知らせ◆

中子ニュースへの掲載希望の方は事務局までご連絡ください。また、会員ログインページ内にて情報発信されたい企業様におかれましても、事務局までご連絡頂ければ、掲載致します。